



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・  
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1998, 69(4):  
677-679

ISSUE DATE:

1998-01-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/96243>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
平成10年1月20日発行(毎月1回20日発行)  
物 性 研 究 第69巻 第4号

ISSN 0525-2997

**vol.69      no.4**

# 物性研究

**1998 / 1**

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 69 (1997), 1. のように引用して下さい。

#### [原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
  - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率 約86%)
  - 2) マージンは、上下各約3 cm、左右各約2.5 cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
  - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
  - 4) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
  - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 手書き原稿の場合の原稿作成要領については、刊行会までお問い合わせ下さい。
6. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学 湯川記念館内  
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

## 掲 示 板

### 「修士論文」募集

例年、本誌では、各大学の物性分野の修士課程修了者の研究内容を紹介しています。本年も1997年度の修士論文を募集します。学術的に価値の高いもの、研究内容がユニークで面白いもののほか、研究は完成していないが今後に興味ある問題提起を含むものや、Review 的な力作など、特色のある修士論文を投稿して下さい。

1. 募集締切：1998年3月31日（火） [ 締切厳守 ]
2. 自薦、他薦は問いません。また、教室の推薦を歓迎します。
3. 論文のコピーを2部 お送り下さい。
4. 4月以降の連絡先を明記して下さい。E-mail アドレスをお持ちの場合は、ご記入下さい。

積極的な投稿を歓迎しますが、掲載の可否については編集委員会にご一任下さい。昨年  
の場合は、判断基準として、論文の内容および分野間のバランス等を考慮しました。尚、  
掲載が決定した論文については、次のような対応を取らせていただきます。

1. 原則として、英文の修士論文は日本語に訳していただきます。
2. 枚数の多いものは、簡潔な内容に縮めていただく場合や、写真印刷の都合上、  
体裁を整えていただく場合があります。
3. 掲載された論文の著者には別刷50部を寄贈します。

## 「博士論文解説」の募集

本年より、物性分野の博士論文の自己PR的な解説を募集します。研究をはじめる動機と目的、およびその成果と今後に残された課題などを、異分野の研究者にも理解できるように簡潔にまとめて下さい。研究の歴史的な位置付けや異分野との関連性、また失敗談や思いがけない展開、さらにはどの点をどのように創意工夫したかといった観点が、随所に見られるような個性的な解説を望みます。応募に当たっては、以下の要領を参考にして下さい。自薦、他薦は問いません。

1. 募集は、随時おこないます。
2. 原稿は日本語で書いて下さい。
3. 原稿の長さは、A4サイズの写真印刷できる原稿で、10～30頁程度。  
原稿は2部送付して下さい。
4. 原稿中に連絡先を明記して下さい。E-mail アドレスをお持ちの場合は、  
E-mail アドレスも明記して下さい。
5. 掲載された解説の著者には、別刷50部を寄贈します。

掲載の可否については編集委員会にご一任下さい。積極的な投稿を歓迎します。

[問合せ&送付先]

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学 湯川記念館内  
物性研究刊行会

Tel: (075)753-7051, 722-3540

Fax: (075)722-6339

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

## 編集後記

1997年も押し詰まり、大学も人氣が希薄になった日の午後に、付近の喫茶店でこの記事を書いています。本誌を手にする人の少なからずは、まずウラ表紙の目次を眺め、とくに関心ある記事がないとき、この編集後記にざっと目を通して、なにがしか感想をいだいて、さて書いたのは誰だろう、と詮索し、多分、彼だろう（目下編集委員は男性ばかり）というところにおちついて、ウラ表紙を閉じる、あたりさわりのない、きれいな編集後記ならつまらぬと思ひ、深い思索にもとづいた議論があれば感心し、同感できる社会批判や愚痴でもあらば、溜飲を下げながらも、読んだだけでガス抜きをされてしまった自己をちょっと後ろめたく思う、そんなところではないでしょうか。本誌に限らず編集後記が読まれるのは、1.そこには毎号何が書かれるかわからない、2.筆者の普段見えない個人的な側面を覗けるかもしれない、3.シリアスに読まなくても何ら支障がない、といったentertainmentの要素があるからでしょう。

とは言え、商業誌の編集後記ならば、刊行の停滞についてのいいわけや、特集記事の自画自賛、刊行のメドがまだ立たない企画の前宣伝...など、ともかくも当誌を代表する立場としての物言いが普通ですが、それにくらべて、「物性研究」はもっと私的な、日本の物性分野のミニコミ誌といったもので、編集後記というのは、そのミニコミ誌的な特徴づけを、よくもわるくも確認する場なのだろうと思います。

研究の実質的部分は、論文が載る以前のところにあり、研究テーマが近い国内外の研究者どうしは、粗削りなメモや主張を電子メールで交換し、研究会での肝心の議論はロビーや懇親会で飲み物のコップを片手に、または膝にOHPのファイルを広げてなされ、研究者のサークルが広がると、コアとその周辺という構造ができてしまい...という、繰り返される自然のなりゆきに対して、「物性研究」は、テーマごとの狭いサークルどうし、および、それらのサークルと、これから物理を研究しようという人々との間の通気用の筒のようなものではないかと思います。もしその筒自体の居ごちが良くなってしまったら、その存在意義を疑ってみるべきだと思います。ともあれ（何という融通無碍な言葉！）2000-2年もどうぞよろしく。

(K. S.)

---

物 性 研 究    第69巻第4号 (平成10年1月号)    1998年1月20日発行

発行人	村 瀬 雅 俊	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所	〒606-8225	京都市百万遍交差点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

---

## 会員規定

### 個人会員

#### 1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費	1st Volume (4月号～9月号)	4,800円
	2nd Volume (10月号～3月号)	4,800円
		計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

#### 3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

#### 4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

### 機関会員

#### 1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円** (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類(請求、見積、納品書)が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より 6 ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

## 物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp



物 性 研 究 69-4 (1月号) 目 次

○講義ノート

「メゾスコピック系の物理」.....大槻 東巳..... 583

○修士論文 (1996年度)

Edwards-Anderson model におけるオーバーラップ分布関数の性質について  
.....野末 大樹..... 624

ペア近似による反強磁性体  $\text{FeX}_2$  ( $\text{X}=\text{Cl}, \text{Br}$ ) の相図に関する理論的な研究  
.....鬼澤 正徳..... 653

○掲示板..... 677

○編集後記..... 679

物 性 研 究 69-4 (1月号) 目 次

○講義ノート

「メゾスコピック系の物理」.....大槻 東巳..... 583

○修士論文 (1996年度)

Edwards-Anderson model におけるオーバーラップ分布関数の性質について  
.....野末 大樹..... 624

ペア近似による反強磁性体  $\text{FeX}_2$  ( $\text{X}=\text{Cl}, \text{Br}$ ) の相図に関する理論的な研究  
.....鬼澤 正徳..... 653

○掲示板..... 677

○編集後記..... 679